

## 神郷校区まちづくり懇談会 開催結果報告書

開催日時 平成26年7月29日(火) 19:00~20:30  
場所 神郷公民館  
参加者数 男72人 女13人 合計85人



### 1 連合自治会共通の市政課題

なし

### 2 校区の課題

(① 神郷公民館前市道の拡幅について )

質疑応答 (要約)

県道～神郷公民館側への市道は、南半分の拡幅が残っている。昨年の説明では、個人所有の土地があるため整備ができないとのことで、土地は、吉岡泉土地改良区と又野の方が所有されているようですが、南半分の拡幅について今後の見通しや取り組みの説明をお願いしたい。

(建設部長)

市有地並びに新居浜市が学校用地として借地している私有地の土地の境界が確定していないため、事業を行うには学校全体の広い範囲で測量等を行う必要があり、その作業には多額の費用が必要となる。

要望箇所については、市道認定基準以上の幅員が確保されている状況で、費用の点も含めて総合的に判断すると、当箇所を優先して事業化することは現時点では困難な状況であ

る。また、学校用地のままで道路用地として使用してかまわないという地権者の了解が得られれば、市としても検討が可能ではないかと考えている。できれば地元のほうで承諾を得ていただければと考えている。

※再検討事項

なし

(② 交通安全対策と信号機の設置について)

質疑応答 (要約)

県道多喜浜泉川線、壬生川新居浜野田線は交通量が著しく増加しており、危険性が増加している。中でも、一梅酢前、神野石油前、下郷自治会館前及び又野川東側の泉石油前では、道路横断歩行者が事故に遭っている。

特に神野石油前の交差点は、社会福祉施設への進入路になっているため交通量が非常に増加している。毎年要望しており、そのことを市は真摯に受け止め、子どもたちや高齢者が安心して県道を横断できるよう信号機の設置に取り組んでいただきたい。

(建設部長)

信号機の設置については、毎年、市民の皆さんからの要望を取りまとめて、警察へ設置要望を行っているところですが、設置箇所の選定についての警察の見解としては、「設置箇所については道路状況等を総合的に判断して優先順位の高いところから設置しています」とのことです。

新居浜市としては、地元の要望が少しでも早く実現されるよう、信号設置について今後も引き続き要望してまいります。当該要望箇所の信号設置の可能性については、新居浜警察署交通課から地元に対し具体的な回答をすると伺っている。

※ 再検討事項

なし

(③ 江の口団地東側の堤防道路のり面整備について)

質疑応答 (要約)

長岩遊水池と江の口団地間の堤防道路の土手及び水路は、江の口自治会で土手の草刈りや水路の底ざらえなどを行っている。特に草刈りにおいては、堤防道路の「のり面」勾配がきついため、作業の主力である高齢者にとって非常に危険な状態であるほか、底ざらえした土の搬出にも大変苦勞をしている。このため、草刈り作業や水路の底ざらえ作業を安全に行えるよう堤防道路の整備をお願いしたい。

(建設部長)

管理者である愛媛県東予地方局に問い合わせたところ、「堤防の法面勾配を緩やかにするなどの対応については、民地側にさらなる用地の確保が必要になることなどから、現時点で堤防の形態の変更は困難である。今後とも、施設管理上の問題等があればご相談くださ

い」との回答があった。

市としては、他の安全対策がないかなど地元でも検討していただき、一緒に県と協議したいと考えている。

**(再質疑)**

除草を中止しようとも思うがごみを不法投棄される恐れがあり、また、水路へ土砂が大量に落ちるなど堤防が空洞化しているとも思われる。県に現場で状況を確認してほしい。

**(建設部長)**

再度、県に状況を確認するよう要望します。

※ 再検討事項

なし

**(④ 江の口団地エリアの雨水対策について)**

質疑応答 (要約)

江の口団地の雨水対策は、現在、遊水池堤防に設置されている排水ポンプ 1 箇所のみです。これまでの説明では、江の口雨水ポンプ場へ雨水排水を接続するように伺っているが、工事が途中でストップしたままとなっている。

大雨時にも浸水することなく安心できるよう雨水対策の推進と現時点の状況について説明を伺いたい。

**(環境部長)**

江の口団地の雨水排水計画は、江の口雨水ポンプ場と遊水池堤防沿いに設置している既設の排水ポンプ (φ 5 0 0 m/m) により、浸水解消を図ることとしており、江の口雨水ポンプ場で排水するための雨水幹線の整備としては、ポンプ場から市道新田松神子線を南下し、地区内の大西自治会長さん宅前まで整備が完了している。

本来であれば、この雨水幹線に既設の水路を接続するなどして、江の口ポンプ場での排水を可能とするとともに、地区内の既設排水ポンプの負担を軽減し、浸水の改善を図る予定であったが、これまで江の口ポンプ場のポンプ運転の目安としていた水位より、地区内北側にある水田の地盤高が低いところがあり、まずは江の口ポンプ場の運転水位を確実に管理するため、昨年度、電動ポンプの自動運転が可能となる改造を行ったところである。

今後は、ポンプの試運転を行いながら、円滑な雨水排水ができるよう運転水位を適切に設定したいと考えており、その結果に基づき平成 27 年度から排水路の工事を再開したいと考えている。また、地区内の既設ポンプ場についても、水位が上昇した場合に、運転員に自動で通報する装置を新たに設置しており、維持管理態勢の強化を図っている。

※ 再検討事項

なし

**(⑤ 落神川川底のコンクリート張りによる整備について)**

#### 質疑応答（要約）

長岩遊水池の浚渫は進捗したが、出水時や高潮時には長岩遊水池から外海への排水ができない状況は変わっていない。落神川の整備（川底の底張り）を進めているが、未整備区間が残っているので、早期の整備をお願いしたい。

#### （環境部長）

河川管理者である愛媛県に問い合わせたところ、「落神川については、平成24年度に平和通り交差点から落神橋までの間において河床掘削を実施するとともに、松神子橋付近の底張りを実施しました。また、平成25年度には、河口部の長岩遊水池の浚渫を実施しました。今年度は、松神子橋から落神橋までの間の底張りを実施するとともに、漏水箇所の目地補修を実施したいと考えており、これにより予定していた全ての工事が完了する予定です」との回答があった。

なお、市としても、できる限り早く工事を完了するよう要望する。

#### ※ 再検討事項

なし

### 3 その他

#### （神郷校区の雨水排水について）

神郷校区の雨水は全て長岩遊水池に流れ込んでいる。その遊水池の水は長岩橋の樋門から外海へ出しているが、満潮時には遊水池へ水がたまりっ放しになる。平成16年度以降水位が上昇して堤防すれすれに何度もなっており、潮位によっては堤防から水があふれ出す危険もあった。また、田畑が宅地化している状況で、流入水量は今後ますます増加すると考えられる。このような状況で遊水池に対する依存度が高まっているので、外海へ強制排出するポンプを設置するなど、これを解消する手だてを検討していただきたい。また、今後の長期的な具体案を示してほしい。

#### （環境部長）

予算的な面もあり、たちまちあふれている場所に対応していくような計画となっている。また、長岩遊水池については、基本的には外海より高い護岸の設計となっており、流入水量が多くなっても問題はないと考えているが、地元の方の不安も理解できるので御意見を参考にして今後の計画に反映したいと考えている。

#### （愛媛県職員のみちづくり懇談会への参加について）

愛媛県が関係している課題が多くあるので、県職員の方にこのみちづくり懇談会に参加してもらえないか。

#### （市長）

市が主催している会ですので、市が責任をもって県に要望しますので御理解をいただきたい。

(神郷まちづくり委員会についての報告)

神郷校区では平成 23 年度の地域主導型公民館への移行に合わせ、市内でもいち早くまちづくり委員会を立ち上げ、安全安心部、環境美化部及び青少年健全育成部によるさまざまな活動を繰り広げている。まちづくりには終わりというものはなくずっと継続していかなければなりません。そのためには資金の安定確保が必要となるので、予算的な手当てをお願いしたいと思う。

(市長)

神郷校区ではまちづくりの活動が盛んであると実感した。冒頭の説明にもあったとおり、新しい交付金制度をつくりました。やっていただけたところにはどんどん支援をしたいと考えているので今後とも御協力をお願いしたい。